

広報

もり 中部の森林



写真：「戸隠森林植物園のアカゲラ」(森のまなびや 芦沢征雄氏提供)

私の森語り「和傘を未来につなぐために」
一般社団法人岐阜和傘協会 長屋 糸織

特集

- ・第13回木材利用優良工事事例コンテスト
- ・森林・林業社会貢献活動感謝状贈呈

各地からの便り

- ・森の小鳥たちに新しいお家をプレゼント！
- ・上高地開山祭 ほか

シリーズ

- ・森林官からの便り、私の森語り、秘蔵写真・今は昔の林業、中部の保護林



林野庁中部森林管理局



2023/No.231

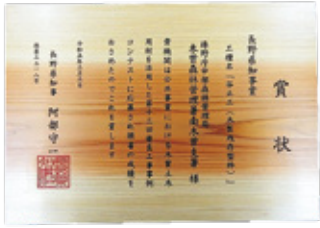
令和四年度第十二回木材利用
優良工事事例コンテスト

【資源活用課】

中部森林管理局も構成員として参加している長野県県産材振興対策協議会では、県産材の土木利用に向けた気運の醸成と優良事例の普及を通して県産材の利用促進を図ることを目的に、公共事業発注機関と協働した「木材利用優良工事事例コンテスト」を毎年開催しています。

令和四年度は、長野県と当局から応募があった工事を審査し、長野県知事賞、中部森林管理局長賞ほか六つの賞が決定し、受賞者には県産スギ材を使用した木製の表彰状が授与されました。

今後とも、優良工事事例を普及させ、公共工事への県産材利用促進と木材の利用拡大に向けた各種取組を進めてまいります。



長野県知事賞の木製表彰状



中部森林管理局長賞
長野県松本地域振興局 山腹工（校倉式木製土留工）



長野県知事賞
木曾森林管理署南木曾支署 谷止工（木製残存型柵）

令和 4 年度 第13回木材利用優良工事事例コンテスト 受賞工事一覧

賞 区 分	受賞機関・工法及び施工箇所	
	施工機関	工 法
中部森林管理局長賞	長野県松本地域振興局林務課	山腹工（校倉式木製土留工）
		安曇野市田沢
長野県知事賞	中部森林管理局木曾森林管理署南木曾支署	谷止工（木製残存型柵）
		木曾郡南木曾町 柿其国有林
長野県治山林道協会長賞	中部森林管理局木曾森林管理署	谷止工（木製残存型柵）
		木曾郡木曾町 新高国有林
長野県森林組合連合会长賞	中部森林管理局南信森林管理署	谷止工（木製残存型柵）
		伊那市長谷 黒河内国有林
長野県木材協同組合連合会长賞	中部森林管理局伊那谷総合治山事業所	谷止工（木製残存型柵）
		下伊那郡阿智村 阿智国有林
長野県木材協同組合連合会长賞	中部森林管理局北信森林管理署	谷止工（木製残存型柵）
		上水内郡信濃町 黒姫山国有林
長野県県産材振興対策協議会长賞	長野県長野地域振興局林務課	谷止工（木製残存型柵）
		上水内郡小川村舞袋
長野県県産材振興対策協議会长賞	中部森林管理局中信森林管理署	木製法止ブロック工
		松本市奈川 奈川第一国有林

令和四年度森林・林業
社会貢献活動感謝状贈呈

【総務課】

中部森林管理局では、森林・林業の社会貢献活動に進んで携わる方に感謝状を贈呈しており、令和四年度は、下表のとおり、十二の団体・企業に中部森林管理局長感謝状を、四つの団体・企業に森林管理署長感謝状を贈呈いたしました。

感謝状の対象としている取組は、国有林防災ボランティアに関する協定に基づく協力のほか、国有林防災活動、国有林野の森林整備、緑化活動等、国有林野事業公営工事の円滑な実施のための地域における奉仕活動等となっており、管内各地の国有林で様々な活動をしていたきました。

なお、感謝状は近隣の署等より伝達贈呈させていただきました。今後とも、管内国有林において多様な主体による様々な社会貢献活動が展開されることを期待してまいります。

令和4年度 森林・林業社会貢献活動感謝状贈呈者

【中部森林管理局長感謝状】

区分	団体・企業名	代表者名	住所	主な活動内容
防災協力活動部門	団体の部 名古屋造林素材生産事業協会	会長 美谷添里恵子	愛知県名古屋市	林道バトロールの実施、林道被害、未然防止活動、豪雨や台風後の路面補修、崩土除去等
	企業の部 株式会社 矢野土木	代表取締役 矢野 克也	岐阜県恵那市	上村恵那国有林の林道の崩土除去、現道補修等の林道整備
	株式会社 長瀬土建	代表取締役 長瀬 雅彦	岐阜県高山市	鈍引沢国有林内林道の路面整正等作業
	有限会社 共和土木	代表取締役 堀 豊次	岐阜県恵那市	上村恵那国有林内林道の崩土除去・路面整正・横断溝清掃・草刈り等
森林づくり活動部門	団体の部 名古屋造林素材生産事業協会	会長 美谷添里恵子	愛知県名古屋市	自然休養林等の森林整備活動
	一般社団法人 名古屋林業土木協会	会長 三尾 秀和	愛知県名古屋市	レク森など入り込み者の多い国有林等において、各支部毎に草刈り、遊歩道整備等
	企業の部 株式会社 羽田組	代表取締役 佐藤 公明	長野県小県郡長和町	国有林請負事業地通勤経路でのわなの設置・見回り・シカ捕獲活動
地域連携活動部門	団体の部 長野国有林森林整備協会	会長 由井 正隆	長野県長野市	遊歩道整備、国有林クリーン活動、外来種駆除作業等の実施及び協力
	名古屋造林素材生産事業協会	会長 美谷添里恵子	愛知県名古屋市	各森林管理署管内で林道等の清掃、除草等の環境整備
	企業の部 株式会社 熊崎組	代表取締役 熊崎 靖之	岐阜県下呂市	御嶽山登山道整備
	木曾土建工業株式会社	代表取締役 青木 孝尚	長野県木曾郡木祖村	管国有林の受注工事周辺の林道等整備
	株式会社 長瀬土建	代表取締役 長瀬 雅彦	岐阜県高山市	講習会の実施

【森林管理署長感謝状】

区分	団体・企業名	代表者名	住所	該当署等
地域連携活動部門	団体の部 一般社団法人 長野林業土木協会	会長 木下 修	長野県長野市	中部森林管理局
	一般社団法人 名古屋林業土木協会	会長 三尾 秀和	愛知県名古屋市	東濃森林管理署
	一般社団法人 名古屋林業土木協会久々野・高山支部	支部長 長瀬 雅彦	岐阜県高山市	飛騨森林管理署
	一般社団法人 名古屋林業土木協会岐阜支部	支部長 所 克仁	岐阜県本巣市	岐阜森林管理署



鳥たちに使ってもらえるよう、願いを込めて巣箱を設置

**森の小鳥たちに
新しいお家をプレゼント！**



【北信森林管理署】

四月十三日、長野市戸隠山国有

林内の戸隠森林植物園において、戸隠中学校二年生の生徒さんによる小鳥の巣箱掛けを行いました。

魅力的なレクリエーションの森として、日本美しの森 お薦め国有林に選定されている「戸隠・大峰自然休養林」の中にある同植物園は、ミズバショウをはじめ、四季を通じて様々な花や多くの野鳥の姿を見ることができ、周辺にはパワースポットで有名な戸隠神社奥社や戸隠山、鏡池など、雄大な自然を満喫できるため、海外からも多くの方が訪れています。

戸隠中学校による小鳥の巣箱掛けは、鳥の生態について学び、自然豊かな戸隠の中で、様々な生き物とのふれあい、自然への理解や関心を深めることなどを目的に、伝統的に実施されている行事であり、植物園内の野鳥の営巣の手助けとなっています。

今年春の訪れが早く、園内の

残雪はすっかりなくなり、ミズバショウも咲き始める中、戸隠中の生徒のみなさんは、協力して老朽化した巣箱を探し出し、そこにはしごをかけ、学校で作製した小鳥のお家に交換しました。

暖かな春を迎え、野鳥たちの元気な鳴き声が聞こえる中、「新しい巣箱、気に入ってくれるかな」「使ってくれなかったらガックリ」と期待と不安を募らせながら、十五個の鳥たちの新しい家が無事に取り付け、笑顔で植物園をあとにしました。



伝統の巣箱掛けを行った戸隠中のみなさん

戸隠森林植物園の開園準備
（総勢約七十名での全力作業）



【北信森林管理署】

四月十九日、新たな巣箱が設置された戸隠森林植物園において、四月二十二日の開園に向けた準備作業を実施しました。

本作業は、同植物園の管理運営に携わる関係機関や団体が組織の垣根を越え、「野鳥の宝庫で地域の重要な観光資源である自然豊かな植物園をマンパワーによる手作りの保全管理活動により守っていかう」との趣旨のもと一堂に会し、また、賛同していただいた企業や団体の皆さんにもボランティアとして参加していただきました。

当日は、遊歩道の補修や整備、老朽化により撤去した十数カ所の橋梁跡地等への手作りの木製橋梁の作製や設置、ウッドチップの敷設やグリーンロープの設置、看板標識類の設置など、多岐にわたる膨大な作業量でしたが、全員で力を合わせて広い園内を歩き回り、

全身汗だくになりながら、全力で作業していただき、ほとんどの開園準備が完了しました。

関係機関や団体が一体となつて、サポーターや企業等にご支援いただきながら行う開園準備の取組は、昨年度から実施しており、今後も各機関等のつながりを強めながら継続して実施するとともに、この取組をモデルケースとして、管内の自然休養林やレクリエーションの森の施設等において参考にする予定です。

最後に、植物園の整備のため、資材やウッドチップを提供していただいた長野国有林森林整備協会北信支部、オフィシャルサポーターの（一財）日本森林林業振興会長野支部、資材運搬にご協力いただいた信州林業株式会社、そしてボランティアとしてご参加いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。多くの観光客の方々に植物園や戸隠でのひとときを楽しく過ごしていただけることを願っています。



ウッドチップ敷設作業



園内のベンチの補修

開園準備作業参加機関・団体

【関係機関及び団体】

- ・長野県長野地域振興局
- ・長野市観光振興課北部産業振興事務所
- ・一般社団法人戸隠観光協会

【ボランティア参加】

- ・長野国有林森林整備協会北信支部
- ・ドコモCS長野支店
- ・北信五岳トレイルランニングレース実行委員会



開園準備完了！



豊橋国有林のふれあいの森での活動の様子

**国民の森林づくり推進功労者に
長官感謝状を贈呈**

【愛知森林管理事務所】

四月十九日、段戸国有林と豊橋国有林において「ふれあいの森」の協定を締結している「穂の国森づくりの会」に、国民の森林づくり推進功労者に対する林野庁長官感謝状を贈呈しました。

平成九年に設立された同会は、愛知県東三河地方における流域市民・企業・行政とのパートナーシップのもと、森林の保全・育成・再生と環境型社会の実現を目指すことを目的として活動している NPO 法人です。協定を締結してい



感謝状を手にする「穂の国森づくりの会」
かみの神野理事長（左）と当所長

る二箇所の「ふれあいの森」においては、当初より、自然林の再生の実現という明確かつ大きな目標を掲げ、その目標達成のため、二十年以上にわたり、下刈、除伐などの地道な活動に取り組みられてきました。

また、国有林をフィールドとして学校等の森林教室や森林整備の体験授業を行うなど、森林に関する知識や情報の普及活動にも積極的に取り組みられており、このような数々の功績に対し、林野庁長官感謝状を贈呈させていただきました。

改めて、これまで森林や人を育てるためにご尽力いただいた皆様方に感謝するとともに、今後とも同会の国有林を活用した活動に協力してまいります。

第五十三回 上高地開山祭

【中信森林管理署】

四月二十七日、我が国を代表する山岳リゾートとして知られる長野県松本市の上高地で、シーズンの幕開けを告げる第五十三回上高地開山祭が行われました。

新型コロナウイルスの流行や土砂災害等の試練を乗り越え、今年も四年ぶりの通常開催となりました。

雲一つない青空の下、地元関係者や観光客など約三百人が見守る中、河童橋左岸のもと、鮮やかな姿を見せる穂高連峰と清らかな流れの梓川を背に「乗鞍アルプホルン愛好会」の演奏が始まり、厳かな神事の後に鏡開きや獅子舞が奉納され、シーズン中の安全を祈願しました。

上高地は、国の特別名勝、特別天然記念物に指定されていますが、大半が国有林であり、本州ではここしかない絶滅危惧種のケシウヤナギの保護林や自然観察の森が設定されています。また、



河童橋を渡り山へ向かう人々

近年では、グリーンサポーツタッフによる保全管理活動や梓川の河床上昇対策等の取組も行っています。

標高千五百以上の高地にありながら、梓川沿いにはほぼ平坦な地形が約十キロにわたり続いているため、散策路はとても歩きやすく、日帰りの短時間滞在でも変化に富んだ景色が楽しめる歴史ある避暑地でもあります。

昨年、上高地を訪れた観光客や登山者は八十七万人余りで、コロナ禍前の七割まで回復しています。今年は従前の百万人を超える入込みが期待されています。「上高地」で心身ともにリフレッシュしてみたいかがでしょうか。

シリーズ

森林官からの便り

国有林の現場の最前線で、働く森林官の仕事や、管轄する地域の特色などを紹介します。

【中信森林管理署

上高地治山事業所

治山技術官 菅野暢晃

上高地治山事業所は、松本市安曇に所在し、主に信濃川に流入する梓川や中房川、奈良井川などの上流域の国有林内で、山腹や溪流荒廃地の復旧に向けた治山工事を実施しています。

当事業所が管轄している国有林の一つに上高地国有林があります。北アルプスへの玄関口の一つでもあり、北アルプス最高峰の奥穂高岳など三千メートル級の高山を有しています。また、大正池や河童橋などの観光名所があり、国内外から多くの観光客が訪れる場所です。

このような場所で治山工事を実施していますので、工事

施工業者が設置する工事用の「お願い」看板は、海外からの観光客にもわかるように、四カ国語での表記を行っています。



4カ国語表記の工事看板

平成二十四年、上高地内の玄文沢において豪雨による土石流が発生し、ヘリポートなどに土砂が流入しました。当事務所では荒廃した溪流を調査するとともに治山工事を実施してきており、今年度は護岸工などによる溪流の安定を図ります。



令和4年度の施工箇所



玄文沢 被災当時の状況

これからも、山地災害から国民の生命、財産を保護するとともに、国土保全に取り組んでいきます。

■未来の担い手へのメッセージ

近年、気候変動に伴い集中豪雨による山腹崩壊などのリスクが高まっており、防災・減災の観点からも、治山事業の重要性を感じています。

やりがいのある仕事だと思えますので、興味を持たれた方は、ぜひ就職を考えてみてはどうでしょうか。



開山祭にてアルプちゃん和筆者

シリーズ

「私の森語り」

もりかた

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。



「和傘を未来につなぐために」



一般社団法人 岐阜和傘協会
和傘職人見習い
ながや しろ織 長屋 糸織 (写真左)

■自己紹介

一般社団法人岐阜和傘協会に所属し、和傘の傘骨をつなぐ要の部品「傘ロクロ」を作る全国唯一の職人、長屋一男の元で後継者として修業をしています。

■活動内容

岐阜では、傘ロクロ製作に最適の材料として適度な硬さとしなやかさを併せ持つエゴノキが使われてきました。傘骨の数に応じてスリットを入れ、その一本一本に糸を通す穴を開ける加工にも耐え得るので、まさに傘ロクロのための

木「ロクロ

木」と呼ぶ人

もいます。

二〇一二年にエゴノ

キを山から

切り出す人

が絶え、現在まで材料の調達

は「エゴノキプロジェクト(以下「エゴプロ」)

というボランティアによる

収穫で助けられています。エ

ゴプロでは、ただ材料を切るだけ

でなく植生調査や保護活動も行っ

て、持続可能な収穫を目指してき

ました。

しかし、シカの食害により計画

は大きく狂ってしまいました。シ

カから守るため、一昨年

から森の一部を保護柵で囲い、その中

では切り株から萌芽したエゴノキが育

ち始めました。しかし、

適寸に育つまでの約十年間、

材料確保が課題です。

和傘は日本の文化や風景のひと



傘ロクロ



みんなで協力して、和傘づくりに必要なエゴノキを調達

つとして欠かせない存在です。和傘を未来につなぐためには、まずは原材料の未来がつかないといけません。

かつて和傘の需要が高かった頃、里山を知り尽くした炭焼き職人たちが森でエゴノキを選び分け、今ふたたび里山を活用して伝統工芸の未来がつかないことを夢見ています。

■メッセージ

岐阜県・近隣県で傘ロクロの材料として使えるエゴノキの群生地情報がありましたら教えていただきたいです。

材料として使えるエゴノキの条件

- ・胸高直径四〜六センチメートル
- ・直通で年輪が十〜十五年ほどあり密な木質のもの
- ・二メートルで一本換算

また、昨年より岐阜市内小学校二校と連携して、苗の育成と植樹活動を行っています。植樹やエゴプロへの参加等、ご興味のある方はお気軽にお問い合わせください。

○連絡先

〒501-6003

岐阜県羽島郡岐南町平島7-26

(有)長屋木工所

電話：058-247-2848

メール：rokuyoz2518@gmail.com

エゴノキプロジェクト実行委員会
egonoki-project.com



シリーズ

秘蔵写真

今は昔の林業

第26回

中部森林管理局総務課

井上 日呂登

今は昔、山村に暮らす人々とその生業としての林業を当局秘蔵の写真とともにご紹介します。

「愛鳥週間」
あいちようしゅうかん



昭和37年の愛鳥週間ポスター

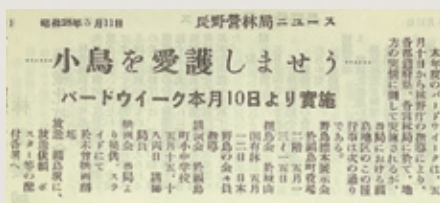
現在も続いている「愛鳥週間」(バードウィーク)は昭和二十五年に定められたもので、五月の十日から十六日までとされています。

昭和二十年代の資料を見ますと鳥類の愛護という内容と同時に、野鳥は害虫を食べるから有益であることや、狩猟対象としての解説がされています。



キジの放鳥

昭和42年、金華山国有林(岐阜市)／昭和44年、城山国有林(木曾町)



昭和28年5月11日の「長野営林局ニュース」より



愛鳥週間には各地の営林署等で探鳥会(バードウォッチング)、野鳥に関する講演会、教育用映画の上映会などが行われる場合もあつたようです。

また、愛鳥週間に限りませんが昔の営林署の行事ではキジなどを放鳥することも行われていました。

現在も戸隠山国有林(長野県長野市／北信森林管理署管内)での恒例行事として行われている中学校の生徒さんによる小鳥の巣箱掛けは、昭和四十二年の愛鳥週間に小学六年生の行事として行われたものが最初でした。



昭和四十二年、愛鳥週間の戸隠山国有林にて小鳥の巣箱掛けを行う小学生たち

ここで紹介している写真は、当局サイト「モノクロ森林紀行」で紹介しております。これは、カラー写真のない時代へ時を超えて！むかしの写真を紹介するサイトです。当サイトへは、コードを読み込んでください。



木曾谷南部の花崗岩地形と木曾五木

南木曾岳 生物群集保護林

設定目的

中央アルプスの南西部に位置する南木曾岳（二、六七七㍎）の山頂部周辺には、深層風化花崗岩からなる急峻な山岳地形に木曾ヒノキをはじめとする木曾五木の天然林が生育しています。

この木曾谷南部の典型的な生物群集を有する森林の保護・管理を一体的に行っています。

地況・林況

当保護林は、木曾川左岸にあたる南木曾岳の南々北西斜面に位置しています。風化した花崗岩地質により、山頂付近は急傾斜で巨岩が突き出した山岳地形が見られます。

木曾ヒノキを中心にサワラ、アスナロ、コウヤマキ、クロベの木曾五木が生育し、林床にはキョウマルシヤクナゲ等が生育しています。また、北西斜面の一部には木曾谷としては希少なブナを中心とする落葉広葉樹林が見られます。

所在地
長野県 木曾郡 南木曾町



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイヤルイン：026-236-2612



※詳細は、コードを読み込んでください。

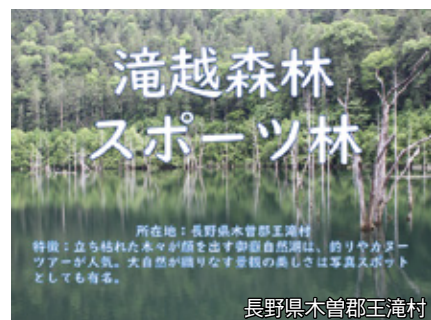
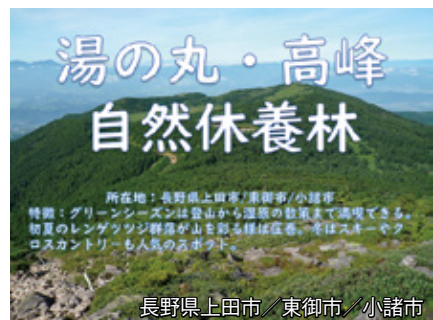


詳しい情報はホームページをご覧ください！



林野庁では、みなさまに広く森林に親しんでいただけるよう、全国の国有林の中に「レクリエーションの森」を整備しています。この中から、特に訪れていただきたい森を「日本美しの森」お薦め国有林」として選定しています。森での過ごし方は、人それぞれですが、木々の彩りや香り、小川のせせらぎ、鳥の声、林内で感じる涼しい風や木漏れ日、お弁当の味わい、突然の雨などなど、お一人でも家族や友人とご一緒でも有意義な時間を過ごすことができます。と思います。中部森林管理局管内では、十箇

日本美しの森
お薦め国有林



編集長だより

(中部の森林へのご意見・ご要望等の投稿は、migoro@maff.go.jpまで電子メールでお送りください。)

国の伝統的工芸品にも指定されている「岐阜和傘」をご存知でしょうか？和傘といえば、日本舞踊や寺社の祭礼、伝統芸能などで用いられていたり、七五三や結婚式などの写真撮影に使用したりするため、私も見たことはありますが、日本一の和傘生産地が岐阜であること、和傘づくりを支える職人さんの減少と後継者育成の取組がなされていること、和傘の「ロクロ」に粘りのある木質で年輪が密なエゴノキが使われていること、約10年間のエゴノキ材の確保が課題となっていることなどを今回初めて知りました。

知れば知るほど、魅力的な「岐阜和傘」の世界！それを支える全国唯一の傘ロクロ職人である長屋一男さんの手と傘ロクロの写真（本誌の7ページ）に私の目は釘付けになりました。

岐阜には、日用品として雨の日に使用できる岐阜和傘の雨傘や日傘が販売されている素敵なお店があるようですので、いつか家族と一緒に「金華山自然観察教育林」に遊びに行き、お店に寄って商品を手にとってみたいと思っています(^^)



「エゴノキの花」(5月中旬撮影)

中部森林管理局のホームページ等へのアクセスは、以下を読み込んでください。



中部森林管理局
ホームページ

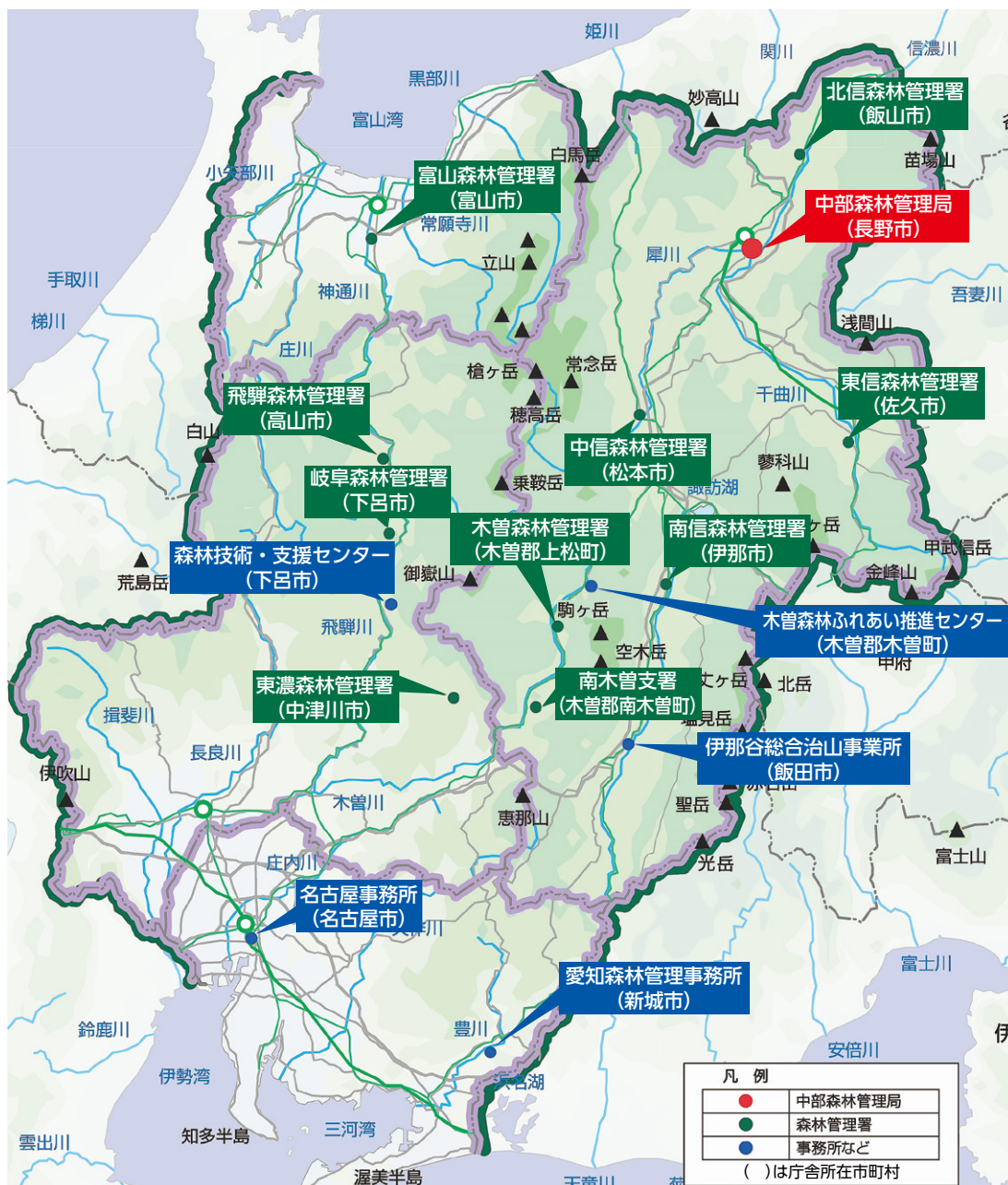


広報
「中部の森林」



用語の解説

本誌文中に掲載している主な専門用語・業界用語を解説。



名古屋事務所	〒456-8620	愛知県名古屋市中区熱田区熱田西町1-20	TEL 050-3160-6660	c_nagoya@maff.go.jp
富山森林管理署	〒939-8214	富山県富山市黒崎字塚田割591-2	TEL 050-3160-6080	c_toyama@maff.go.jp
北信森林管理署	〒389-2253	長野県飯山市大字飯山1090-1	TEL 050-3160-6045	c_hokushin@maff.go.jp
中信森林管理署	〒390-0852	長野県松本市島立1256-1	TEL 050-3160-6050	c_chushin@maff.go.jp
東信森林管理署	〒384-0301	長野県佐久市白田1822	TEL 050-3160-6055	c_tohshin@maff.go.jp
南信森林管理署	〒396-0023	長野県伊那市山寺1499-1	TEL 050-3160-6060	c_nanshin@maff.go.jp
木曽森林管理署	〒399-5604	長野県木曽郡上松町正島町1-4-1	TEL 050-3160-6065	c_kiso@maff.go.jp
南木曽支署	〒399-5301	長野県木曽郡南木曽町読書3650-2	TEL 050-3160-6070	c_nagiso@maff.go.jp
飛騨森林管理署	〒506-0031	岐阜県高山市西之一色町3丁目747-3	TEL 050-3160-6085	c_hida@maff.go.jp
岐阜森林管理署	〒509-3106	岐阜県下呂市小坂町大島1643-2	TEL 050-3160-6090	c_gifu@maff.go.jp
東濃森林管理署	〒508-0351	岐阜県中津川市付知町8577-4	TEL 050-3160-5675	c_tohno@maff.go.jp
愛知森林管理事務所	〒441-1331	愛知県新城市庭野字東萩野49-2	TEL 0536-22-1101	c_aichi@maff.go.jp
森林技術・支援センター	〒509-2202	岐阜県下呂市森876-1	TEL 050-3160-6095	c_gijutsus@maff.go.jp
木曽森林ふれあい推進センター	〒397-0001	長野県木曽郡木曽町福島5473-8	TEL 0264-22-2122	kiso-fureai@maff.go.jp
伊那谷総合治山事業所	〒395-0001	長野県飯田市座光寺5152-1	TEL 050-3160-6075	

発行：林野庁 中部森林管理局
編集：総務課 広報
〒380-8575 長野県長野市栗田 715-5
電話：026-236-2531
Mail：migoro@maff.go.jp
http://rinya.maff.go.jp/chubu/

メールマガジンに登録いただくと、広報「中部の森林」を発行日と同時にデジタル版を毎月配信します。
(毎月10日発行※編集の都合で、発行日が遅れることもあります)
登録サイト <https://mailmag.maff.go.jp/m/entry>



本誌に使われている紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。